今日の主の回復の主要な項目の極めて需要な点第 6 週 — 召会の回復

鳥瞰	召会の回復とは、当初、召会にはある状態があり、それが失われ、損なわれ、誤解されて、今やそれを当初の状態に戻す必要があるということです。召会の回復は、イスラエルの子たちが捕囚から帰還し、エルサレムの都を再建することによって予表されます。わたしたちは、召会が回復されるとは何を意味するかを見る必要があります：召会の回復のために、わたしたちは回復されて、分裂と背教との立場から離れる必要があり、また、三一の神のパースンと、キリストのパースンと働きとに関する真理から逸脱することから離れる必要があります：召会の回復のためにわたしたちは、キリストのからだの一の唯一で純粋な立場とその真理へと戻される必要があります：召会の回復においてわたしたちは、キリストのからだ、神の宮、神の家を建造しています。	
	真理要点	経験適用
1日	1．回復という言葉の意義について説明してください。 2．召会はキリストのからだであり、また宇宙的な新しい人でありますが、この違いは何でしょうか？	1．「回復する」という言葉は、失われたものを再び獲得すること、あるいはあるものを正常な状態に戻すことを意味します。「回復」は、損害や損失を被った後、正常な状態へと復興すること、あるいは戻ることを意味します。 召会の回復について語るとき、わたしたちが意味するのは、当初、召会にはある状態があり、それが失われ、損なわれ、今やそれを当初の状態に戻す必要があるということです。 2． キリストのからだは彼の豊満、すなわち、彼の満ち満ちた表現です。 召会がキリストのからだであることの強調点は命でしたが、召会が宇宙的な新しい人であることの強調点はわたしたちのパースンとしてのキリストです。 からだのために、わたしたちはキリストがわたしたちの命であることを必要としますが、新しい人のために、わたしたちはキリストがわたしたちのパースンであることを必要とします。
2日	1．バビロンに奪い取られていた宮の器は何を予表していますか？ 2．召会の回復が神の宮と都の再建で予表されるのは何故でしょうか？	1．これらの器は銀のものと金のものであり、キリストとキリストの豊富とに対する経験を表徴します。神の民が散らされ、すべての霊的な経験も持ち去られてしまいました。 それは彼らにも、神にも恥でした。ですから、銀や金のすべての器はエルサレムに戻されなければならないのです。 2．エズラ記第 1 章 3 節は言います、「あなたがたのうち、すべて彼の民はだれでも、彼の神が彼と共におられるように．その者はユダにあるエルサレムに上って行き、エホバ・イスラエルの神の家を建てるようにせよ．彼はエルサレムにおられる神である」。 回復とは神の宮の器を携えてエルサレムへと戻ることだけではなく、破壊されてしまった神の宮を再建することでもあるということです。 宮の建造が回復された後、都を建造する必要がありました。主の臨在する宮には保護が必要でした。都の城壁は宮に対する防御でした
3日	1．召会の回復のために、何故わたしたちは自分自身を清め、「大きな家」から離れる必要がありますか？ 2．主はどのようにして神の民をバビロンから出させましたか？	1．テモテへの第一の手紙第 3 章 15 節と 16 節で定義された神の家は、真理の基礎として、その神聖な性質と本質的な特徴において真の召会です。 パウロは、「大きな家」という表現を用いています。大きな家はその混合した特徴において堕落した召会です。わたしたちは自分自身を消極的な事柄や消極的な人から清めるなら、尊いことに用いられる器となる必要があります。 2．5 節によれば、大いなるバビロンは、「地の遊女どもと忌むべきものの母」と呼ばれています。 この女には喜ばしい外観があるが、邪悪が彼女の内側に隠されています。 わたしたちは確かに大いなるバビロンにとどまることはできません。 主はわたしたちに次のように告げています、「わたしの民よ、彼女から出よ．それは、あなたがたが彼女の罪に加わらないためであり、また、あなたがたが彼女の災害を被らないためである」。
4日	1．様態論と三神論の誤りを説明してください。 2．聖書における三一の神の純粋な啓示について説明してください。	1．様態論が教えるのは、父、子、霊がみな永遠であるとは限らず、またみな同時に存在するとは限らず、ひとりの神の三つの一時的な現れにすぎないということです。三神論は、父、子、霊が三人の神であると教えます。 どちらも極端な見解であり、異端です。 2．聖書における三一の神の純粋な啓示は、様態論と三神論という両極端の間の中央の位置を占めます。 一方で、わたしたちの神は唯一無二です。他方で、彼は三です。神が一である面において、父、子、霊の間には分離はありません。しかしながら、神が三である面において、父、子、霊の間には区別があります。
5日	1．神の分与（dispensation）が神の家庭のエコノミーであるということはどういうことですか？ 2．キリストのパースンと働きに関して、わたしたちはどのようにして宣べ伝えなければなりませんか？	1．神の分与（dispensation）は、神の家庭のエコノミー（economy）です。聖書によれば、神はまず王国を得ようとはしません。そうではなく、神はまず家、家族を欲します。いったん神が家族を得るなら、彼の家族は自然に神の王国となります。もし神が家族、家庭、家を確保することができないなら、王国を得ることはできないでしょう。 2．キリストのパースンと働きに関して、キリストは神が肉体となった神・人であり、彼は神性と人性の両方であると、わたしたちは宣べ伝えなければなりません。 彼の贖いの働きにおいて、彼はわたしたちの罪のため、またわたしたち罪人のために十字架上で死なれました。それから彼は復活させられました。それによって彼はご自身を神聖な命としてわたしたちの中へと分け与えることができました。ですから、わたしたちが宣べ伝える福音は、神・人であるキリストが、わたしたちの罪のために死なれ、復活させられたということです。
6日	1．コリント人への第一の手紙第 12 章 12 節のキリストが、団体のキリストであることを説明してください。 2．わたしたちが回復する必要のある召会の二つの真理とは何でしょうか？	1．「キリスト（the Christ）」は、団体のキリストを指しており、かしらとしてのキリストご自身と、肢体としてのすべての信者たちを伴う彼のからだとしての召会から成っています。キリストのすべての信者は、彼と有機的に結合され、彼の命と要素で構成されています。 このゆえに、彼はかしらであるだけでなく、からだでもあるのです。わたしたちの肉体には多くの肢体があっても一であるように、このキリストも同様です。 2． 宇宙的な面で、召会は唯一無二です。地方的な面で、召会は多くの地方において、多くの地方召会として表現されます。地上の多くの地方において表現される一つの宇宙召会は、多くの地方召会となります。 諸地方召会がなければ、宇宙召会の実行と実際はありません。宇宙召会は、諸地方召会において実現されます。
まとめ	イスラエルの子たちが捕囚から帰還することは、召会の回復を予表しています。彼らは宗教、偶像に満ちたバビロンから離れ、イスラエルに戻り、また宮の金、銀の器を持ち帰る必要がありました。これはキリストの豊富の経験を予表します。生養教建を実行することが最もよい道です。人の上で労苦し、わたしたちは多くのキリストに対する主観的な経験をささげ、神が彼の御名を置かれる場所、すなわち彼の住まいへ戻り、召会である神の宮を建造します。建造された都は王国となり、召会の中で王国の生活を回復し、王国の生活を建て上げます。召会生活の実際は、王国です。	